



## ハブクラゲ発生注意報



本年もハブクラゲ発生注意報が発令されております。

沖縄県には猛毒を持つハブクラゲが生息しており、毎年 100 名を超える刺症被害が発生しています。

ハブクラゲの特徴は、立方体の傘を持ち、四隅から複数の触手が伸びていることです。伸縮する触手は伸びると 1.5m 以上になることもあり、強力な刺胞毒をもっています。刺されると激痛を伴い、刺胞箇所はミミズ腫れになります。重症の場合は、意識障害や呼吸困難、心停止に至ることもあります。

ハブクラゲの傘は、ほぼ透明であり水面ではなかなか発見できないものです。海流に乗って浅瀬に入ってくることもあります。

ハブクラゲ刺症を防ぐために。

- ・海水浴をする場合は、肌の露出を避け、ハブクラゲ侵入防止ネットの設置された海域を利用しましょう。
- ・ハブクラゲ防止ネットの内側で泳ぐようにしましょう。
- ・海へ出かける際は、酢を準備しておきましょう。

ハブクラゲに刺された場合。

- ・直ぐに海から上がり、食酢をかけて触手を落とします。  
! 真水、アルコールをかけると未発射の刺胞を刺激するのでやらないこと。また、砂をかけて払い落とそうとすることも同様です。
- ・すぐに医療機関で治療を受けてください。

※食酢はハブクラゲの触手にのみ有効です。その他のクラゲやカツオノエボシに使用しないように。



(資料：沖縄県衛生環境研究所)

世界にも類を見ない多種多様な生物が生息する沖縄の海は、大変魅力的であります。ハブクラゲ以外にも様々な海洋危険生物が生息しています。

海洋危険生物の中には【毒】をもつ生物も多くいます。

海遊びを安全に楽しむために、正しい知識と必要な備えを確認しておきましょう。

代表的な危険生物については、以下 URL から確認できます。

沖縄県保健医療部衛生薬務課 HP

<https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/eisei/uminokikennseibutu.html>